

(様式1ー表)

令和4年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書(案)

学校番号	4	豊田市立 小清水小 学校	代表	阿知波早百合
------	---	--------------	----	--------

※分野【a:国際交流・国際理解、b:地域連携、c:自然体験、d:環境教育、e:学力向上、f:交流体験、g:福祉・ボランティア、h:伝統文化、i:その他()】から選ぶ。

テーマ	力いっぱい活動する子	分野	i	その他
	サブテーマ 一心も体も元気いっぱいー	(その他)は分野を右欄に記入	健康	
学校づくりの視点(ねらい)	本校は、地域・保護者との連携を重視し、講師・ボランティア・サポーターとして地域の力を教育活動へ積極的に導入して学校づくりをすすめている。本校の「特色ある学校づくり推進事業」では、本校の教育目標である「進んで学び合う子」「思いやりのある子」「からだをきたえる子」のうち、特に健やかな心と身体の育成に関係する部分に重点をおき進めていく。 教育目標の実現のために、「A学力向上」「B心の教育」「C健康・体力向上」「D環境教育」「E地域連携」の5つのプロジェクトがある。この5つのプロジェクトの中の具体的方策を推進することにより、健やかな心と身体の育成を実現していく。 ・心身ともに健やかな子どもの育成 A B C D ・異年齢交流活動による子どもの社会性の育成 E ・地域人材の活用と家庭・地域との連携 E			
活動内容・計画	5つのプロジェクトの中でも心身の健康にかかわる活動に重点を置く。 A 学力向上プロジェクト ・学校図書館司書の活用 ・読書指導、調べ学習への支援を通して、学ぶ楽しさを感じ取らせる。 ・読書を通して豊かな心を育てる。 B 心の教育プロジェクト ・心の相談員の活動 ・児童に寄り添うことで、児童が悩みを話し、解決に向けて自発的に動き出すことができるようにする。 C 健康・体力向上プロジェクト ・体力向上補助指導員の活動 ・体育の授業の充実による体力づくりのための方法の工夫、基本的な動きを習得する。 D 環境教育プロジェクト ・校内整備員の活用 ・活動しやすい環境づくり 季節を感じる花壇づくりを充実する。 E 地域連携プロジェクト ・異年齢交流活動「わくわくタイム(縦割り活動)」「こども園との交流(1年生と5歳児)」を行う。 ・地域講師を活用する。 ・地域学校共働本部との連携を図る。			
補助員配置	・体力向上補助指導員 ・心の相談員 ・学校図書館司書 ・校内整備員			
実績・期待される効果	・本に接する機会を増やし、読書に親しむことで、健やかな心の成長が期待できる。また、調べ学習の支援を通して、学習へ取り組む意欲の高まりが期待できる。 ・心の相談員への相談活動により、困ったことをそのままにせず、解決に向けて動くことができる。また、学校不適応児への声かけや支援をすることで落ち着いて学校生活が送れるようになることが期待できる。 ・体育の授業を充実させることで、基礎体力や基本的な技能の向上につなげ、運動に親しむ態度が育つことが期待できる。 ・校舎内外の環境整備が進み、気持ちよい学校生活を送ることにつながると期待できる。 ・縦割り活動(異年齢交流)により、人とかかわる喜びを育み、自分や友達を大切にする気持ちが醸成されたり、学校への適応感が高まったりすることが期待できる。 ・地域学校共働本部との連携で、地域ぐるみで子どもを育てることができる。			
検証方法	・「保護者アンケート」の結果 ・各活動における児童の事後感想 ・異年齢交流など、交流場面での児童の様子 ・学校不適応児童の様子			